

第1学年 生活科 学習指導案

会場 1年各教室
 授業者 島田 裕子
 高橋 哲
 関根 真木子
 須崎 清美
 関 隆史

単元名

「たのしいあき いっぱい（あきの おもいで）」

1 本時の目標

秋の学習を振り返ることを通して、自分なりの秋の特徴を良さという側面から捉え、今後の自分の生活に取り入れようとする態度を育てる。

2 本時で重視する ESD の視点に立った能力・態度

【④コミュニケーションを行う力⑥つながりを尊重する態度】

3 本時の展開

時間	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 □資料 ☆評価【観点】
導入	○前時の学習を振り返る。 ・秋祭りの振り返りをしました。 ・秋が終わりになりそうだという話をしました。 ○本時の学習の見通しをもつ。 ・今日は、秋の学習の振り返りをしたいです。 ・どんなことしてきたか思い出したい。	◇学習課題については他に、「秋の学習のまとめをしよう」や「秋の学習をおもいだそう」といったものが考えられる。秋の学習を集約していくことに方向付ける。
	あきの学しゅうをふりかえろう。	
展開	○秋の学習について思い出したことを短冊に書き出し、自分の感情を認識することで秋の良さを捉える。 ・秋さがしてどんぐりをさがした。楽しかった。 ・大きな葉っぱが落ちていた。びっくりした。 ・大きな葉っぱでお面を作った。面白かった。 ・実がたくさんあった。いい季節だと思った。 ・どんぐりごまで勝負した。楽しかった。 ・落ち葉とどんぐりで絵を作った。いい作品ができて嬉しかった。 ・秋祭りでいろんな人と楽しめた。よかった。 ○去り行く秋へメッセージを伝える。 ・落ち葉で遊ばせてくれてありがとう。また来年も楽しみだよ。 ・どんぐりボーリングで遊べて楽しかったよ。これからも楽しく使っていくよ。 ・木の実で飾りが作れて嬉しかったよ。お家の玄関に飾っていつでも見られるようにするね。 ・木の実を使って楽器を作れて楽しかったよ。大切に使うね。	◇想起するために必要なものを児童に尋ね、思い出しやすい環境を整えるとともに、自分に合った方法を自由に選択できることを確かめる。 □掲示物やスライド、ポートフォリオを活用したり、友達と会話したりすることで今までの学習を振り返りやすくする。 ◇全体で少し共有し、考えやすくする。 ◇短冊を「秋探し」「秋のものを使った遊び」のように大きく分類した上で、「落ち葉」や「どんぐり」のように分類し、一目で把握しやすくする。 ◇短冊の内容を共有し、広く想起できるようにする。出来事に関わる気持ちを尋ね、自分に生じた感情を明らかにできるようにする。 ◇特に心に残っていることを尋ね、一人ひとりが秋の良さを認識できるようにする。 ☆秋の良さを自分なりに捉えているか。【知・技】 ◇秋が終わりを迎え、冬に移ろうとしていること、秋が再び訪れるであろうことを確かめる。 ◇どのようなことを、どのようにして伝えたいか尋ね、実際に行うことで児童の思いや願いが遂げられるようにする。「手紙に書く」「外に伝えに行く」「心の中で言う」「作ったものに語り掛ける」といったことが想定される。 ◇伝えたことを紙に記録し、学習したことや今の気持ちを大切にしていけるようにする。 ☆感じた秋の良さをもとに、今後の生活を豊かにしていこうとしている。【主】
まとめ	○学習を振り返り、自分の心境を確かめる。 ・楽しかった。 ・またやりたい。 ・この勉強をしてよかった。	◇児童の感じているまを受け止め、余韻をもって学習を終えられるようにする。